

## 第3学年国語科学習指導案

日時 平成17年9月8日(木)6校時

場所 教室(3年2組)

児童 3年2組 男18名 女15名 計33名

指導者 三浦 久寿

- 1 単元名 「進んで話し合い、発表しよう」(光村図書3年上わかば)  
教材名 「分類」ということ

### 2 単元設定の理由

#### (1) 児童観

子どもたちは、2年生までに、身近な話題に興味を持ち事柄の順序を考えながら話したり聞いたりする活動を行ってきた。さらに、3年生になり、1学期教材「道案内をしよう」では、事柄を順序立てて分かりやすく話すことの必要性を学んだ。また、日常活動の一言スピーチや村内めぐりの発表会で自分の身近な話題や見学して学んだことなどを一人ひとりが発表できるようになっている。

しかし、一言スピーチでは同じ話題で何度もスピーチしたり、事実のみの発表で感想が入っていません。また、多くの事柄を整理し順序立てて話すことができていない。また、発表する人を見て話しを聞くことはできているが、相手が話していることの大事なことに気がついて聞き、それに気づいたりする力が不足している。

事前テストの結果を見ると、「分類」という言葉の意味を理解している児童は33人中1人。また、実際に分類をさせてみたところ、理由をはっきりさせて分類できた児童は36.4%(12人)。分類はできても理由が不十分な児童が42.4%(14人)。はっきりとした分類ができない児童が21.2%(7人)だった。

筋道を立てて話すことを苦手としている児童には、話す基となる理由を明確にさせることが必要である。発表する中身を整理し順序立て、分類した理由をはっきりさせて発表する力を育てていきたい。

#### (2) 教材観

本教材「『分類』ということ」は、大きく3つの学習活動からなる。一次の活動は、教科書の猫が描かれた挿絵を見て、猫をどのように分類したのかを話し合う思考活動を通して、それぞれの観点の相違点・共通点に気づき、お互いの考えを尊重しあうことをねらいとしている。二次は、分類に関わって自分で課題を決め、調べる活動である。教材の中では、調べ方のひとつとしてインタビューの実施を取り上げているが、インタビューをするにあたっては敬語などの言葉遣いやマナーなどの大切さに気づかせたい。また、情報を収集した後は、発表に向けて必要のある事柄を選択し整理できることをねらいとしている。三次は発表会に向けての活動である。調べた中身がよく分かるように、話す事柄を整理して話すことが大切になり、これまで学んだ発表の順序ということも合わせて、子どもたちに発表する力をつけさせることをねらいとしている。

以上のことから、子どもの生活のさまざまな場面で必要とされる作業である「分類」という思考活動を話し合い活動の導入として位置づけ、話す事柄を整理し順序立てて話す力を育てるには、本単元は有効であると考えられる。

#### (3) 指導観

「話すこと・聞くこと」の言語活動への関心、意欲、態度を高め、指導と評価の一体化を図り、本単元のねらいに迫るために、以下のことを指導の手立てとして位置づけた。

関心を喚起させるために

- ・カラーの拡大絵図を活用することによって、学習に対する期待感を高める。
- ・CDを活用し、実際の猫の分類の観点を聞くことにより、イメージを高め意欲を喚起する。

意欲を持続させるために

- ・調べ学習では、教師が具体例を多く用意し、個々の興味に応じて意欲的に材料集めができるようにする。
- ・発表会までの全体の流れを教室掲示することで発表までの見通しを持たせる。

態度を育成させるために

- ・発表の練習を3人組で行い、多様な助言ができるようにする。
- ・聞く人を2人とし、話すことに抵抗のある子にも話しやすい場を設定する。
- ・お互いの発表を記録したカードを相手に渡し、よりよい話し合いができるようになったことを認め合い、成就感を持たせる。

指導と評価の一体化を図るために

- ・3人組による練習や相互評価を行い，次回の練習や発表会へ生かす。
- ・具体的な評価項目を設定し，自己評価させることで，次時の活動へ生かす。

### 3 単元の指導目標

- ・「分類」や，その観点の違いに興味を持ち，身の回りの事柄について調べ，発表して友だちと交流する。

### 4 単元の評価規準（B）

ア 国語への 関心・意欲・ 態度	関心	分類に興味を持ち，進んで分類しようとしている。
	意欲	自分の調べたいことを決めて，発表する材料を進んで探そうとしている。
	態度	友達の発表を聞いて，感想をまとめようとしている。
イ 話す・聞く 能力	構成要素	① お互いの考えの相違点や共通点について考えている。
		② 自分の考えが分かるように筋道を立てて話している。
		③ 話の中心に気をつけて聞いている。
ウ 読む力		資料「分類」を読み，内容を理解している。
エ 言語についての 知識・理解・技能		その場の状況や目的に応じた適切な音量や速さで話している。 相手やその場の状況に応じて丁寧な言葉で話している。

### 5 単元の指導計画（話す・聞く 13時間 読む 1時間）

時間	主な学習活動	具体的評価規準（B）と【評価方法】	指導の手立て
一 次	第1時 猫の挿絵を見ていくつかの特徴に気づきグループに分ける。	アー 猫の分類に興味を持ち，分け方を考えようとしている。 【作業の観察】	・拡大絵図を提示することで共通理解を容易にし，集中力を高める。
	第2時 「話し合いで大切なこと」を学習し猫の分け方について実際に話し合う。	イー 友達の考えの相違点・共通点について考えながら聞いたり発表したりしている。 【グループでの評価活動の様子】 【自己評価カードの内容分析】	・話し合いの観点をCDと紙板書を利用して確認させ，話し合いの中で「分類」することの意味を考えさせる。
	第3時 グループで話し合ったことをまとめて発表し，グループでの話し合いを振り返る。	イー それぞれのグループでまとめた意見を聞き，自分の考えを深めようとしている。 【自己評価カードの内容分析】	・相違点を聞くことにポイントを置き，多様な分類の仕方があること気づかせる。
	第4時 資料「分類」を読み，分類することの意味と，いろいろな分類の仕方があることを知る。	ウー 教科書を読んで，大事だと思ったところや初めて知ったこと，「分類」とはどのようなことかをノートに書いている。【ノートの内容分析】	・大事だと思うことに線を引いたり印をつけたりしながら読ませる。
	第5時 「分類」について想起し再度猫の分類を見直しグループで話し合う。	イー 自分の分類を見直し，話し合いをすることで，自分の考えを深めている。【話し合いや発言観察】 【ノートの内容分析】	・絵図や表を利用しながら新たな視点や複雑な視点についても考えさせる。
二 次	第6時 調べたいことをいくつか考え，インタビューの仕方を知る。	アー 調べたいテーマとその調査方法を進んで考えようとしている。 【発言・ワークシートの記述】	・テーマの探し方を教え決まらない子どもには支援する。
	第7時 調査計画を立て発表までの見通しを立てる。	アー ワークシートを利用して進んで計画を立てようとしている。 【ワークシートの記述】	・机間指導で一人ひとりの計画に無理がないか確認する。
	第8・9時 発表の材料を集める方法 ・図書室の本 ・インタビュー等	アー 発表する材料を進んで探そうとしている。 【活動の観察】	・活動場所を図書室にし一人ひとりに対応する ・校外で調べる子には教師も一緒に予定を立てる。

二 次	第 10 時	観点を決め、調べたことをまとめる。	アー ワークシートに調べたことをまとめようとしている。 【ワークシートの記述】	・調べた内容から必要のある事柄を選ばせ、自分が理解できる言葉でまとめさせる。
三 次	第 11 時	発表内容の組み立てを考える。	アー 話す事柄を整理し、順序を考えて発表メモを書こうとしている。 【ワークシートの記述】	・CDと紙板書で発表の流れを確認させ、ワークシートに作業させる
	第 12 時  ( 本時 )	3人組で発表の練習をする。	イー メモを見ながら話す事柄を整理し順序立てて話している。 【発表練習の様子】 【相互評価・自己評価カードの内容分析】	・3人組で聞き合い、お互いによさを認め合わせることで、発表本番への自信を持たせる。
	第 13 ・ 14 時	「分類」発表会を聞き学習のまとめをする。	アー 一人ひとりが友達の発表の審査員となり、よいところを見つけ、感想を書こうとしている。 【審査カード(相互評価)の記述】 イー 大事なことが相手によく聞き取れるように、声の大きさや話す速さに気をつけて発表している。 【相互評価・自己評価カードの内容分析】	・一人ひとりの発表は最後までしっかり聞き、その後で審査カードに記入させる。

## 6 本時の指導

### (1) ねらい

聞き手によく分かるように、話す事柄を整理し順序立てて話すことができる。

### (2) 展開

段階	学習内容と学習活動	指導上の工夫と評価, 教材・教具
導 入 5 分	1 前時までの学習をふり返り、発表の練習に入ることを確認する。 2 学習課題をつかむ。  話すことを整理して、順序よく発表しよう。 ・目的意識：自分の調べたことを正確に伝える。 ・相手意識：グループの友だち。	・前時に発表メモを作成したこと。発表するときに気をつけなければいけなかったことを想起させ、発表練習の見直しをもたせる。  紙板書
展 開	3 発表練習のやり方を確認する。  4 1回目の発表練習をする。 めあて：話す順序に注意して発表する。 ・全員が発表し終わったら、発表の仕方についてグループで意見交流する。 ・良かった発表を紹介する。  5 2回目の発表練習をする。	・発表で注意すること、聞き方で注意することを確認させる。 ・1つのグループをモデルに使い、活動の流れをつかませる。 ・3人組で練習させる。 ・1人が発表、残りの2人が発表を聞くことを確認させる。  ・前時に作成したメモを基に、めあてに沿った発表をさせる。 ・発表を聞く2人には、評価カードの項目にしたがって発表者の評価をさせる。 ・お互いの発表について相互評価させる。 評価カード <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価イ-</span>

35分 まとめ 5分	めあて：大事な言葉が相手に伝わるように発表する。	・お互いの発表について相互評価させる。 評価カード <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価イ-</span>
	6 まとめの練習をする。	・全員一斉に行う。
	7 学習のまとめをする。	・相手からもらった評価カードを読み、自分の発表の仕方を振り返らせ、自己評価させる。 評価カード
	8 次時の学習内容を確認する。	

(3) 評価と支援

【観点】	【具体の評価規準】	【評価に応じた支援】
イ-	A 自分の考えが分かるように、資料等を使い話す事柄を整理し順序立てて話している。 B メモを見ながら、自分の考えが分かるように、話す事柄を整理し順序立てて話している。	A 学習の振り返りの場で優れた点を取り上げ、称賛する。 C 前時に作成したメモをもう一度確認させ、自分の伝えたいことを整理させる。

(4) 板書計画

めあて

分類発表会をしよう

話すことを整理して、じゅんじよよく発表しよう。

発表するとき

発表メモ

- ・発表の前に、話す事柄を整理する。
- ・事がらのじゅんじよを考えて話す。
- ・大事な言葉がよく聞きとれるように話す

一回目のめあて

話すじゅんじよに注意して発表する。

二回目のめあて

大事な言葉が相手につたわるように発表する。